



張本倭詩經

梅

^13

4488

3





八13
4488
3

人物て顔と心と異ありとては上古の伏羲女媧神農夏后氏ハ蛇身牛首あり
 大聖人あり奸夫邪佞の今の人の顔人かして中心畜生あり朱文公曰名雖
 為人而實無以異於禽獸となす礼とある者ハ多し其のこれあり人の
 及ハ礼義欲をたてり人として礼義ある人面獸心とて形ハ人として心ハ
 禽獣とてものなり

眉同
 よん
 と
 心
 人
 か



大
 人
 形
 両
 め
 利



博 疾 ち や
 大 飲 ち 酒 ち
 湯 ち 湯 ち
 五 湯 ち



量 ち
 ち ち
 ち ち



孔子曰不有博奕者乎為之猶賢乎已
 小博奕ハ吾邦天下の法はなされ
 賭錢ち人ハ明黄允文も愛賭人手中錢難又留と人
 又酒も儒佛ともいふ一ちありあう
 此におよむぬやと一ちありあう
 まゝくわくろのの大酒はよわぬる酒と氣違水と云又酒の黒名と名茶
 といふ范魯公が詩云戒爾勿嗜酒狂藥非佳味凡人此二曲あはよわぬ
 人情也といふ眉目容よ死男といふもとつりものなり唐李義山のいふく
 愛賭博飲酒須貧賤なるべけんや

長者富小厭どとて富者小もかなる（けん）慳（けん）貪（こん）りて財利をおぼて愈（い）求（もと）めて
 愈（い）不足（ふそく）たり者なり五雜俎云富者多慳非慳不能富也錢の多きも不用
 富ても不足と云ふものハ佛家小足（せうそく）有財餓鬼といふ儒者星と守錢奴と
 ひるり唯足（い）こと（い）欲（よく）なり



喰（く）や
 金（かね）子（こ）



おき
 海（うみ）も
 然（しか）一
 幼（お）幼（お）
 餓（が）鬼（き）



凡醫と學者の儒の理をわたりて今人の醫書小なり脈は明り病は察して療治
と施し人を救ふなり今時無きなりと醫と業なりみづり小熱髪祝髪を
て容はくろく身小糾構るは衣服と衣なり世のたらし小醫者なり俗と感
るものなり嗚呼指し小野小町のさあらんやわやうの醫者動もとれ
人益害せり懼るなりけんや



心^{こころ}長^{なが}し
持^もや
ん
氣^きを
損^ええ
氣^き



塵^{ちり}が
い^やと
ま

事功と積て成就とて——急速に成る——説死曰土積成山學蘇
成聖鶴林玉露十曰張乖崖曰一日一錢千日千錢とて終小博學廣智の名
て大弘成との喻あり信なるに李白感鉄杵再勤て終小博學廣智の名
と得たるは故かく其事短急しく功を成ることをとるべし



越山のあ | 帰る娘
て や う



都 へ 郷
る さ れ

古郷難忘の心なり 禮記檀弓曰君子樂樂其所生禮不忘其本古人有言曰
狐死正丘首仁也吁人而忍忘古郷耶盧僊南樓望詩去国三巴遠登樓萬里
春傷心江上客不是故郷人又李白静夜思詩舉頭望山月低頭思故郷此
等もさる故郷孤忘るふあのかをぬるさるのりと思ひいづくは号ものなり

聖人より下つてこの人かと思ふに
 一、然るに賢人君子に在るは自ら
 て速に改め惡を正すに在るは小人愚人の
 改むるを憚るに在るは小人愚人の改むるを
 破るに在るは小人愚人の改むるを憚るに
 破るに在るは小人愚人の改むるを憚るに

伊勢此

浦
 ひ
 網
 も
 乃
 二



な
 か
 り
 ろ
 二



人の心ほどうけりやと記すのいふ一
 彌子瑕といふ所の男色はいて衛君は愛せしむる年長色おとろけつたおふん
 で衛君彌子と罷ふといふおとろけつたおふん
 若本の宮女等より寵愛深しうて後色おとろけつた秋田の落しあふ
 おふん



五月
 西
 恵
 えて



今
 秋
 田
 水

總て人る世の事善悪禍福はことふ極なる世の人乃曲々々
 善事あをむ大い悦び惡事あをむ大い憂鳴呼善悪二ハ車の
 廻りごとく人間萬事塞翁之馬るをいふふらむべうと云



さふら
 ちむ
 うま
 せは

下ノ



車
 りち
 長
 けりや
 あふ

此相い父母小難くも孝行者のをぶ由也たの幼女の時爺嬢小難くも孝行をいふことばも
 け心とあふふあふ父母小難くも孝行とつくやとほりあつて諸佛菩薩天神地祇感應
 あり慈となき慈の心をあふするも成就は是とて往者斯相いおわて大い感
 歎ありとまふとて父母めつるまほの聖経賢僧諸子百家の書にのせと容易
 いの道一がととて其別まうとて人我子と意をとりまふは心を後
 て父母と意をとりまふは孝行あるにはなるの相い父母の心をとりまふは孝行ありとて



此の
 子
 母
 事
 と



あ
 世
 草
 鉄
 下
 乃
 此

花 月 春 夢
 花 月 春 夢
 花 月 春 夢
 花 月 春 夢



夢 度
 夢 度
 夢 度
 夢 度



年々歳々花相似...
 年々歳々花相似...
 年々歳々花相似...
 年々歳々花相似...

以爲
新刊
少子氏